

# 議会報告 てくてく

# 皆様の声を市政にとどける くらしげ政樹

議会控室 (025-226-3450)

携 帯 (090-2479-5094)



日本共産党くらしげ政樹事務所

新潟市秋葉区田家2-2-19

(TEL/Fax 0250-22-1393)

## “朗報” 交流センター駐車場が実現！

# 新たに0番線駐車場ができる

### これまでの経過

2014年8月 日本共産党市民アンケートを実施

「街なか駐車場を何とかして欲しい」の声届く

9月「駐車場設置して」他の要望書提出

2015年3月 秋葉区自治協議会で駐車場問題討議、

市民の要望が強いことが明らかになる。

6月 くらしげ政樹、6月議会で質問

7月 2人の元秋葉区自治協議会委員が

駐車場問題で篠田市長に要望書提出

8月 秋葉区、「交流センター利用と駐車場問題」のアンケートを実施



新津市(いち)が開かれる「0番線」

## 秋葉区、「0番線駐車場の利用説明会」…2月25日(木)に開く

2月1日、新津地域交流センター管理委員会は、「アンケート結果報告と0番線駐車場説明会」の案内状を利用団体に発送しました。「市日(いちび)」が開かれている「0番線」が、駐車場として使われることとなります。

## 市民の声が市政を動かす

くらしげ政樹

市民の要望が強かった「新津地域交流センター駐車場」が実現の運びとなりました。当選後初めての議会で取り上げたわたくし(くらしげ)としてはうれしい限りです。2014年8月、日本共産党秋葉区委員会が取り組んだアンケートの中に、「街なかで安心して使える駐車場が欲しい」との声が

多く寄せられました。市当局に要望書を提出したり、市民の皆様の声を聞いたりしました。

街なか駐車場問題をつうじて、市民の声が市政を動かすとの確信をいっそう強めました。今後とも皆様の声をお寄せいただきますようお願いいたします。

柏崎・刈羽原発再稼働…世界最大の原発事故の危険

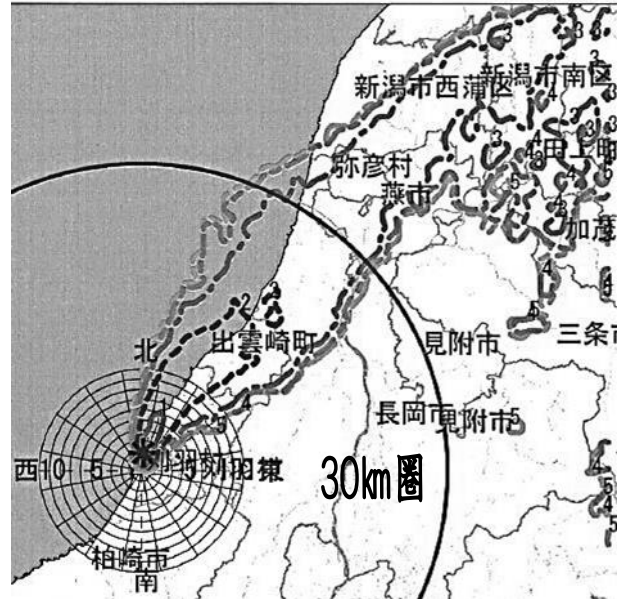
# 県民の暮らしを奪う“安倍政権”

## 柏崎刈羽原発事故の被ばく予想

昨年12月16日、東京電力と新潟県は柏崎刈羽原発6号機（安全審査中）で事故が起きた場合、「放射性物質の拡散と被ばく量」がどれほどになるかの試算を公表しました。

最悪条件が重なると、事故後3日間の被ばく量は、原発近くで約2700ミリシーベルト（脱毛や白血球減少など急性放射線障害を起こす）に達します。

事故発生時に各種緊急防護を講ずる区域（UPZ）30キロ圏の外でも100ミリシーベルトを超える地域があることが分かりました。



柏崎刈羽原発事故の放射能汚染の広がり予測図

## 100ミリシーベルトとは

人体は、放射線を浴び続けると正常細胞を破壊されたり、修復機能が衰えたりします。自然界で日常的に浴びている放射線量が、 $2.4\text{ mSv}$ （ミリシーベルト）以下ですから、 $100\text{ mSv}$ の放射線を浴び続けることは避けなければなりません。

柏崎市、長岡市、魚沼市、上越市などの住民が一斉避難となれば、新潟県内は大混乱の状態になるでしょう。県民の暮らしを根こそぎ奪う「安倍政権の原発再稼働」は許せません。

## 秋葉区は安全なのか…事故2時間後 放射性物質降下

緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム（SPEEDI）による、柏崎刈羽原発事故放射性物質汚染予測図が公表されました。風速 $10\text{ m}$ 、南南西の風が吹いていれば、2時間で汚染物質は秋葉区上空（右上図）に達します。雨天時には、そこがピンポイントで汚染されるでしょう。60km離れているから「秋葉区はだいじょうぶ」などの保証はないのです。

## 柏崎刈羽原発の再稼働をストップさせましょう…「電気は足りてる」

1月20日、日本共産党新潟県員会は、原発政策を発表しました。（要旨項目）

- 1、「原発停止で地域経済が疲弊」は根拠のない“神話”
- 2、“豆腐の上の原発”を動かしてはならない
- 3、「新規制基準」－「世界で最も厳しい基準」は大ウソ
- 4、再稼働の審査対象とされていない住民の避難計画
- 5、福島はいま一再稼働を考える原点
- 6、世論と運動で柏崎刈羽原発の再稼働ストップを



世界最大の柏崎刈羽原発